

2022年12月3日

ハンターログ (GIチャンピオンシップ第1日目)

チーム名：(XwX)

メンバー：xtakas, Wo0z, xaris

(チーム名決定秘話!) 思い起こせば、チーム結成はGII 2022 Hunter's Cupの日。閉会式も終わり、今回のGIIの回顧をしているところだった。だが、チーム名はすぐには決まらず、申し込みまでに決めようということで、持ち越しに。申込期限が迫る中、メンバー全員英字なので、頭文字とればいいのかと安直な考えで、xwxが候補に。そして申し込み直前、(xwx) 顔文字みたいでかわいい!との意見が飛び出て、それが良いということに。見た目を整えて、チーム名は(XwX)となった。ちなみに、読みは()は読まずに、“エックス、ダブル、エックス”でいいのではないかという結論ともなった。

G1第2回プロハンターチャンピオンシップは2022年12月3日に開幕を向かえた。

G1はこれから2日かけて行われる。

我々は、絶対明日を向かえられるように全力を尽くす。

我々の戦いの火蓋は、今日ここに切られた。

初日は予選みたいなものだ。参加した15チームが一気に10チームまでふるい落とされる。

どんな強豪チームでも油断はできない。

過去4度のワールドカップで優勝した経験のあるドイツでさえグループリーグ敗退することもあるのだ。

生憎の曇り空だが、トレジャーハンティングにはおあつらえ向きだ。

久能山東照宮で(XwX)名で絵馬を奉納してある。願い事は“G I 優勝”。戦神、徳川家康公が我らを導いてくれるはずだ。

事前準備は万全だ。当初の予定通り、各人が探索地域ごとに展開する。

全部で20個のクエストがある。

これをすべて手分けをして、完全制覇を目指す。

xtakasは、最初に食べ物系のクエストを目指すことにした。

初手はホットケーキ、2手目はミニハンバーガーだ。

周りには同業のハンターたちがたくさんいるなか、味わいもそこそこに次のクエストへむかう。幸いにも大食いチャレンジではなかったので後の移動には影響はなかった。

そこから常磐線を使って日暮里へ向かう。途中でレンタサイクルを借りながら6つのキーワードを入手した。

Wo0zも、最初に飛び出してあらかじめ遊園地向かい順調に手がかりを入手した。

他のハンターたちもいてスタック状態だったが、隠密にスタッフをみつけながらキーワードを入手した。

xarisは、まず最初にすべての謎を解いた。

そこからスポーツセンター近くを周る。キーワードは無事に集まりつつあった。

最後に、整理すると1箇所入手できていないところがあった。大ピンチ！！

そこはチームプレイ、Wo0zがレンタサイクルにて手がかりの場所へむかった。

xarisから場所の指示が飛ぶ。残り時間は20分。まにあわなければ失格になってしまうので時間との勝負にもなる。

キーワードは無事に入手できたとの連絡があった。

スポーツセンターで、xtakasとxarisはキーワードを確かめ合いながら解答用紙に記入する。Wo0zは無事に帰ってきたとの連絡もあった。エレベータは混み合っているので階段で4Fまであがってきた。

息も絶え絶えになりながら、解答用紙にすべてのキーワードを記入した。

報告まで残り5分。問題なく解答して、あとは結果発表とログの作成を残すのみ。

人事は尽くした天命を待つ！

2022年12月4日

ハンターログ (GIチャンピオンシップ第2日目)

チーム名：(XwX)

メンバー：xtakas, WoOz, xaris

---

初日の結果発表

初日のGIは、まさに激闘であった。我々の報告時刻は締め切り2分前となりぎりぎり10位での通過となった。

ぎりぎりの報告になったのにも理由がある。

締め切り40分前に、謎を解いてもいない問題があることが発覚したのだ。しかも、謎を解き明かすと、と、遠い！どうする？

行くか、諦めて報告するか？発見できていない謎も他に一つある。ただ、そのなぞは他のグループも見つけてなさそうだ。だが、見逃していたなぞは、他のグループは、既に行っている可能性が高い。であれば、このままでは、10位以内は厳しいだろう。遠いが行くしかない。詳細な場所の特定を他のメンバーに任せ、WoOzは、ペダルに足を掛けた。

残り20分、正確に特定してくれた仲間のお陰で、迷うことなく、発見。だが、報告所もここから遠い。頑張るしかない。力を振り絞ってペダルを漕ぐ。

残り5分、報告所の建物に到着。エレベータ前には人だかりがある。このままでは間に合わない判断し、階段を駆け上がる。息が上がる。力尽きたその瞬間、仲間が待っていた。記入していないキーワードを書き写してもらった。手がかじかんで、自分で書くことができないからだ。そして結果発表。やはり1つ落としのチームが多い。我々も1つ落としたが、報告はほぼギリだ。1位から順に通過チームが発表されていく。その様子はまさに箱根駅伝の予選会のような。

残り通過枠まであと1つになったとき、通過時間が呼ばれた。もしかして？

呼ばれたチーム名は、(XwX)であった。

最後に探索した謎が生きた瞬間。チーム連携の勝利だった。

勢いは我々にある。

どうせ2日目に初日の順位は関係ないのだ、狙うは1000万！

G1の決勝が幕をきられた。

問題を確認する。

3つある。

2つは簡単そうだな。あと1つはなんとかなるだろう。

その考えが覆されるのにはそう大した時間はかからなかった。

まずは、3つ目の謎をといて、ゆいの森あらかわへ向かう。

他のチームの顔が見える。

目標物を発見。でも他のチームへ悟られないように、その場を立ち去った。

まだ解いていない謎を考えるべく、ゆいの森あらかわの2階へむかった。

そこからは地獄のような時間だった。

時間だけが過ぎていき、気づけばこの場所に2時間も滞在していた。

もうクリアを目指すにはぎりぎりの時間だろう。

謎がはっきりとはとけていない状態ではあったが、3人はゆいの森あらかわを後にするのであった。

向かった先にはもちろん手がかりはなかった。

肩を落とす3人。

だが、まだ試合終了のホイッスルはなっていない。

最近新作の映画が公開された漫画にもあったら

「諦めたらそこで試合終了ですよ～」

残り時間は気になるがそこで2つ目の謎を解きながら電車で移動した。

南千住駅に着いたとき、xarisが天王公園へ向かいたいと言った。

もう選択肢はなかった。

みんなで天王公園へ向かう。井戸はある、塔らしきものも見えた。花壇には花が咲いている。

そこになにかあるはずだ！

そこには2つ目のキーワードがあった。

喜ぶ3人。

だが、見つけたものはそれまでであった。

何も宛にないまま歩き回る3人。

肩を落としながら荒川スポーツセンターへ帰還した。

宝を見つけられるようには何を鍛錬すればよいのだろうか。

そんなことを思いながら、筆を置くことにする。